



木曜日は4年生が町内音楽発表会に出かけます。

参加人数を減らしての開催ですが、3年ぶりの開催になります。

# 自分の顔はどんな顔？

## ～「自分がなりたい自分」をめざす～

折に触れ、子ども達には、「自分がなりたいと思う自分」を目指すように話しています。

たとえば高学年には、陸上の練習を通して、つらい練習もやり通すことで満足感が得られることを知ったり、無理だと思っていた記録でもがんばったら縮められたり、走るのが速くなくてもただ黙々と努力する友達を見てすごいと思ったりと、いろいろなことを見て感じてきました。逆に、「自分はもっとがんばれたな。」とか「ここが足りなかったな。」と思うことができたとしても素晴らしいことです。

こうやって、自分の見える世界が広がり、「もっとできるようになりたい。」とか「〇〇さんのようなところを真似したい。」というような「自分がなりたい自分（今よりも一段高い自分）」を目指そうという話です。

そんな折り、マラソン記録会が行われました。どの子も一生懸命走りました。よく応援もしました。本番で見せた顔は、どの子も一生懸命な顔でした。

特に6年生は、苦手な子も歩かないようにとがんばり、速い子は一等賞をめざして必死に。本当に一生懸命に走りました。つらい顔や苦しい顔ですが、どうでしょう。かっこういい顔でもあります。

子ども達に伝わったらいいなと思うことは、「**がんばるときの自分は、こんなにかっこいい顔をしている。**」ということです。「では、今はどんな顔をしているか。」と問いたいということです。

マラソンの練習中、気持ちが入らないで注意されたこともありました。これからでも、何かに取り組むときに、一生懸命に取り組めないことがあるかもしれません。そんなときの自分はどんな顔をしているでしょう。

**「今の顔は、自分がなりたい自分の顔ですか。」「明日はどんな顔をしていたいですか。」**

そんなことを問いながらがんばってほしいと思うのです。

「いい顔」で走る高学年



他の学年を応援する低学年

# みなさんは、 こんなにいい顔をしています!!



## お礼

マラソン記録会は、今回も学年ごとに行いました。おうちの方には、学年ごとの入れ替えやご覧になる人数の制限はなくして、譲り合いながら見ていただくことをお願いしました。当日も、混乱することなく、また走路まで行くことなく校庭周辺で見てくださいました。今後も、ご協力をいただいて、「少しずつですが制限を外す」ということの検討」を続けていきたいと考えています。観戦ありがとうございます。